

洛南病院建替整備に係る近隣説明会

令和4年6月

ガイダンス

1. 主催者挨拶
2. 計画・工事概要説明（約50分）
 - (1) 洛南病院建替整備計画の全体像
 - (2) 工事の概要
 - (3) 新しい建物の概要
 - (4) 新しく整備する診療機能（医療観察法病棟）
3. 質疑応答（約30分）

時間内に質問できなかった方は、後日、FAX又は電子メールでご質問をお受けします。

（質問票は資料に綴込み）

洛南病院建替整備に係る近隣説明会

令和4年6月

ガイダンス

1. 主催者挨拶

2. 計画・工事概要説明

(1) 洛南病院建替整備計画の全体像

(2) 工事の概要

(3) 新しい建物の概要

(4) 新しく整備する診療機能（医療観察法病棟）

3. 質疑応答

1. 計画概要（病院の現況と建替整備の経過）

所在地	宇治市五ヶ庄広岡谷2番地
開設年月日	昭和20年6月1日（開設者：京都府知事）
診療科目	精神科、内科
許可病床数	256床（6看護単位）
敷地面積	80,686㎡
建物面積	建築面積 7,382㎡ 延床面積 12,028㎡
専門外来	思春期外来 認知症外来 若年性認知症外来
政策医療	精神科救急医療（南部圏域）基幹病院 認知症疾患医療センター（地域型） 依存症専門医療機関 （アルコール健康障害、薬物依存、ギャンブル依存）

《建替整備のこれまでの経過》

平成25年度	有識者による懇談会設置、開催（H26.1まで5回開催）
	↓
	懇談会の最終意見案にかかるパブリックコメント実施
平成27年度	整備基本構想策定
平成28年度	整備工法検討
平成29年度	施設整備計画策定
平成30年度	経営シミュレーション実施
令和元年度	基本設計実施（～R2.6）
令和2年度	建替計画にかかる説明会開催 工事中進入路工事
令和3年度	実施設計実施

2. 計画概要（整備の必要性、新たな診療機能）

《建替整備の必要性、ポイント》

① 多様なニーズへの対応

精神科医療のニーズの多様化に対応するため、重症うつ病、薬物等依存症、児童・思春期精神医療、医療観察法対象者等に対応できる機能を備えた施設が求められている。

② 療養環境の改善

現在の病院建物は、昭和58～63年にかけて建設。老朽化が進んでいるほか、古い基準で整備しているため、病室の面積等が狭隘でバリアフリー化も進んでおらず、患者の療養環境も良好とは言えない状況にあるため、改善が必要

③ 病床数の縮小

「早期退院促進」「入院医療中心から地域生活中心へ」という精神科医療の潮流を踏まえ、病床数は256床から210床に縮小



《新たに整備する専門病床》

病床機能	病床数	概要
重症うつ	14	自殺企図が強く、経口摂取、投薬治療だけでは改善しないうつ病等に対応
薬物等依存症	14	増加傾向にある覚醒剤等の薬物依存を中心とした依存症に対応
児童・思春期	16	児童思春期に特有の行動障害や思春期うつ等の治療に対応
医療観察法	17	医療観察法（後述）に基づく、心神喪失等で重大な他害行為に及んだ者の入院治療

※認知症患者の受け入れも引き続き行う。

3. 前回説明時にいただいた主なご意見・ご質問

分野	ご意見・ご質問
工事	工事用車両の通行ルートが病院東側に設定されて安心した。正しいルートが守られるよう望む。
工事	通行ルートは、より道路幅の広いルートの通行も検討願いたい。
工事	工事の終了時期はいつ頃か。
建物	病院北側の住宅では、眺望や日照が損なわれる。対策を講じてほしい。
建物	新しい建物の照明等で、夜、明るすぎる心配はないか。
建物	病院の騒音や患者の声が不安。法令基準はもとより、住民の感情にも配慮願いたい。
診療	これまで熱心に取り組んできた認知症に冷たく、依存症などに熱心になる印象を受けたがどうか。

分野	ご意見・ご質問
医観法	対象者の無断離院が不安。セキュリティは大丈夫なのか。
医観法	対象者は退院後、洛南病院に通院するのか。
医観法	通院する対象者がこの地域を通ることに不安を感じる。通院する対象者の状態把握や病状悪化などへのケア・対応はどうなるのか。
医観法	例えば京都アニメーション放火殺人事件の犯人のような者が無罪となった場合、医療観察法病棟に入院するのか。
医観法	対象者が再他害行為に及ぶ危険はあるのか。
説明会	説明会の対象範囲を小学校付近まで広げるべきではないか。
説明会	医療観察法に関する積極的な情報発信を望む。

注：「医観法」とは、医療観察法の略記

洛南病院建替整備に係る近隣説明会

令和4年6月

ガイダンス

1. 主催者挨拶

2. 計画・工事概要説明

(1) 洛南病院建替整備計画の全体像

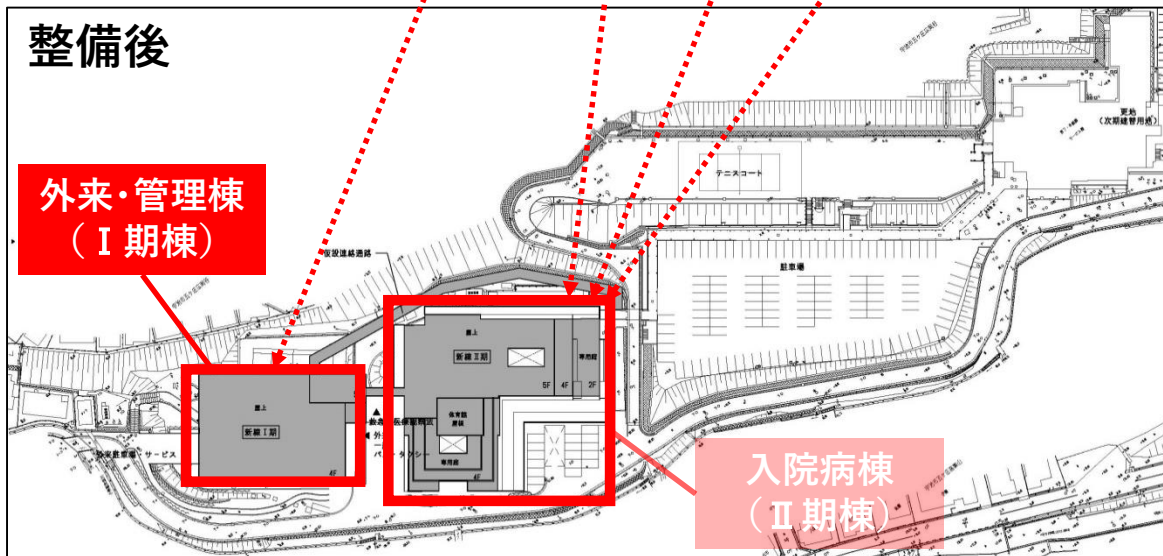
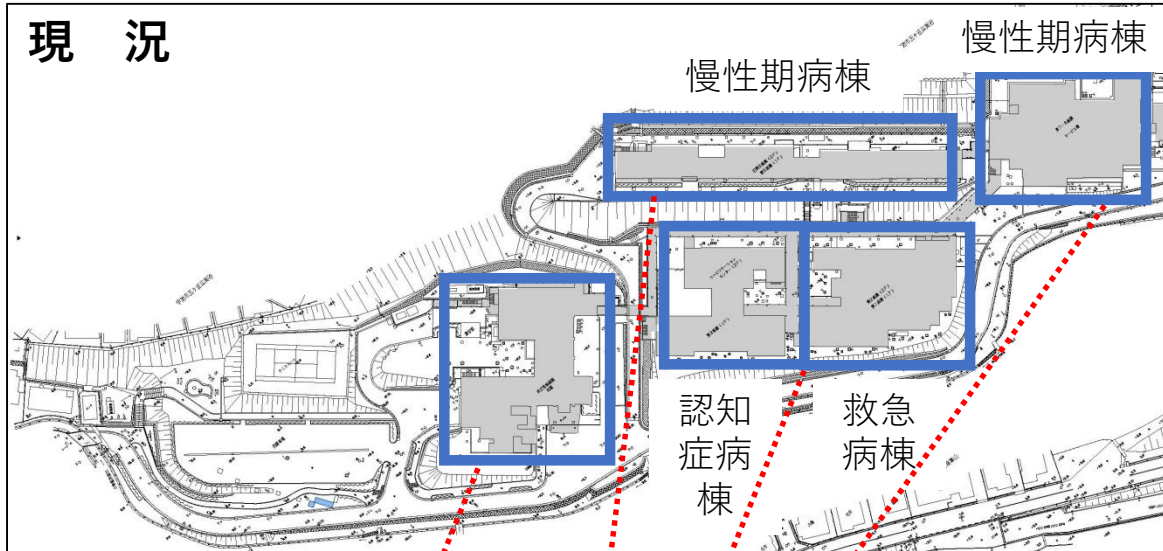
(2) 工事の概要

(3) 新しい建物の概要

(4) 新しく整備する診療機能（医療観察法病棟）

3. 質疑応答

4. 建築計画と工程



《大まかな工程》



令和4年度 工事入札
契約締結

浄化槽 解体撤去
外来・管理棟 建設着工
(地下1階、地上5階)

令和7年度 外来・管理棟 竣工見込



(未定) 現 外来・管理棟 解体撤去

(未定) 入院病棟 工事着工
(地上5階)

(未定) 入院病棟 竣工

5. 建築工事概要

※設計段階での想定、おおよその目安

建物の構造

- ・ I 期棟、II 期棟とも鉄筋コンクリート造
- ・ 現病棟と新建物を結ぶ仮設連絡通路設置

掘削工事

- ・ 現在の地盤面から一定の深さまで掘削
(テニスコートから9.7m、駐車場から6.8m)
- ・ 土の搬出量：概ね12,000m³ (現時点の概算)
- ・ 杭の打撃工法は採用しない予定

作業時間帯

- ・ 原則、平日8:30～18:00
- ・ ただし、技術的な理由等でやむを得ない場合は、平日日中以外に作業を行う場合がある。

(コンクリート打設後の均し作業)
(ガス管設置のようなライフラインを止める作業)
(警察等の指導により夜間しか通行できない大型車両の通行 など)

工事関係車両

- ・ 大型の車両は以下のとおりと想定
(これら車両の通行ルートは後述)

作業内容	車両	主な使用時期
鉄骨等搬入	大型トレーラー	令和7年度 (重機等搬入は令和4年～)
コンクリ打設	コンクリートミキサー車	令和5年度末～6年度冬、令和7年度春
土搬出	10 t ダンプカー	令和5年度中 (令和6,7年度の一部)

※小さな車両も含めると、工事期間中は、何らかの車両が通過する。

6. 解体工事概要

解体対象

- ・ 浄化槽棟、外来・管理棟（本館）

解体方法

- ・ 重機及び削岩機を使用（火薬類は使用しない）

作業時間

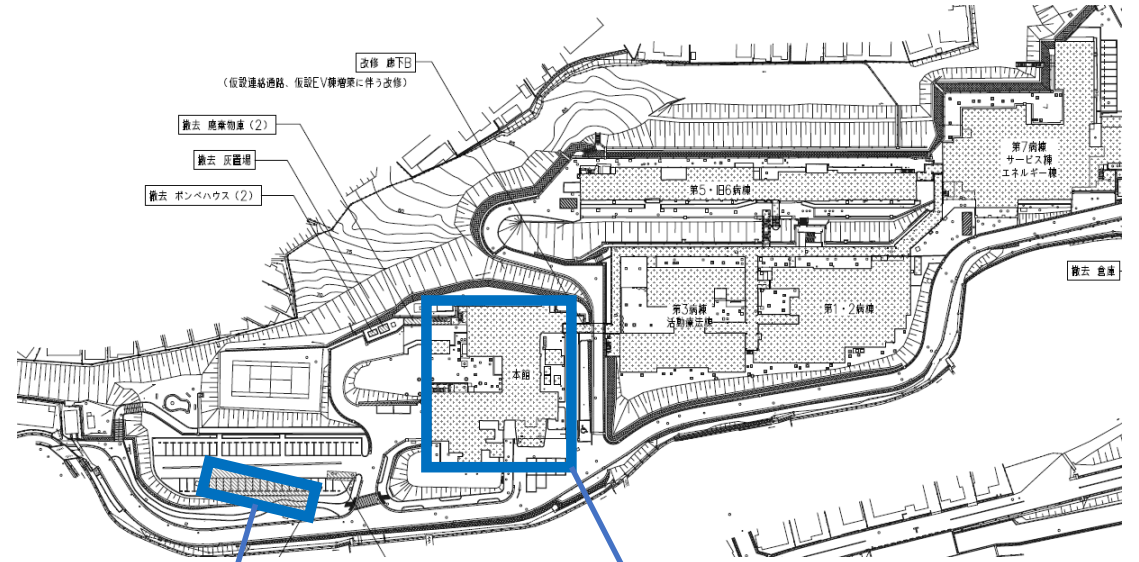
- ・ 建築工事と同じ

想定工事期間

- ・ I 期工事中に浄化槽棟解体(約 5 ヶ月間)
- ・ その後、本館解体(約15ヶ月間)

アスベスト除去

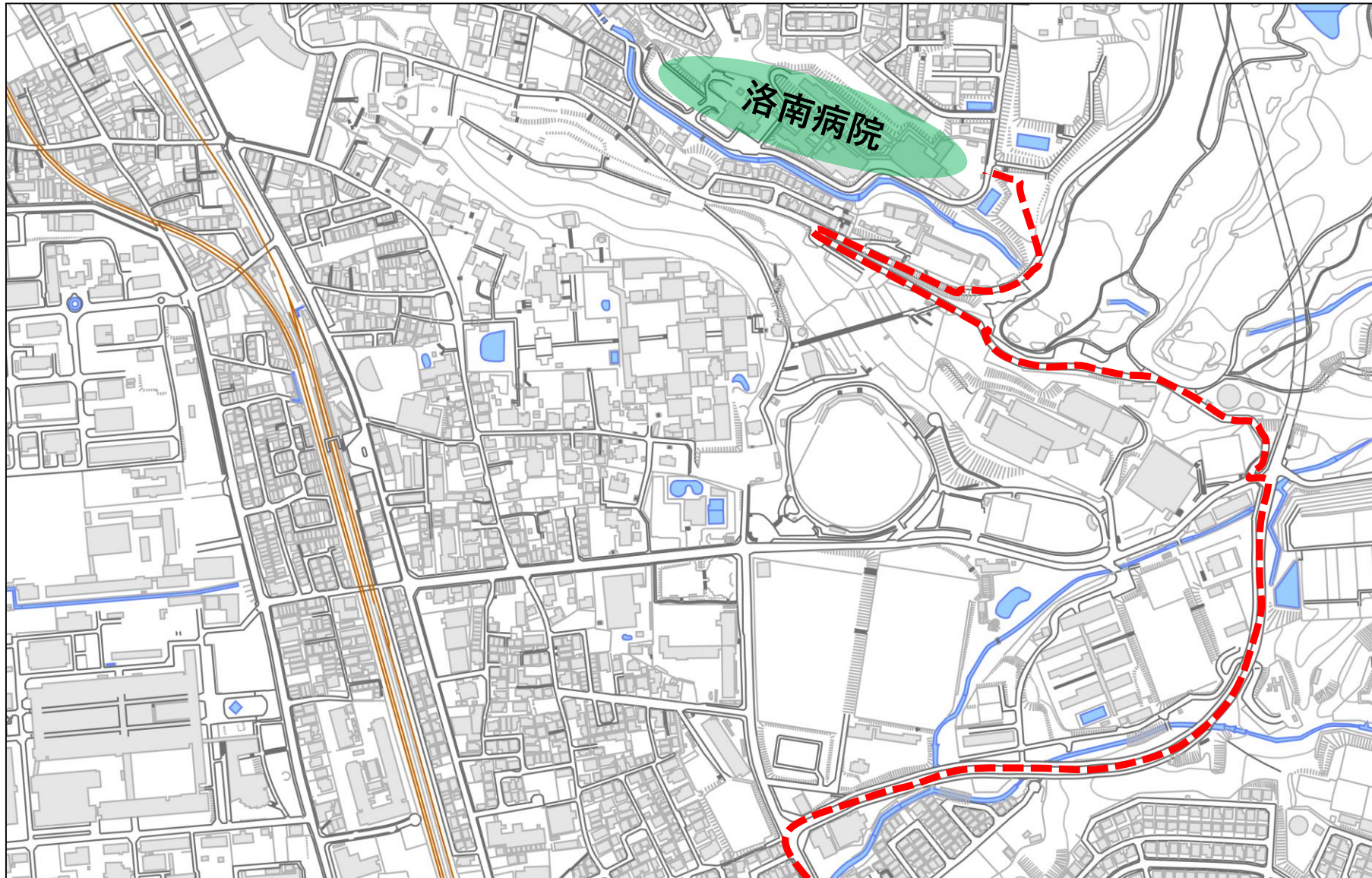
- ・ 調査の結果、解体対象建物の外壁の塗装にアスベストの含有が判明
- ・ 国の技術指針、処理マニュアルに基づき、飛散防止措置を講じ、処分場に廃棄



7. 建築工事・解体工事の影響と対策

影響の種類	発生する作業・原因等	対策
騒音	建築工事＝掘削重機、ミキサー車、クレーン等の稼働 解体工事＝重機の稼働、コンクリートの破砕	防音シート（必要に応じて防音パネル）の使用
振動	建築工事＝杭の設置、掘削 ※1期棟は杭の代わりに地盤を改良 解体工事＝コンクリートの破砕	掘削部分の土留めは、主にSMW工法を採用予定（地盤をスクリーにより穿孔後、芯材（鉄骨）・セメントスラリーによる壁を造成。高い止水性を持ち、周辺地盤への影響が少ない工法）
粉じん	解体作業	散水等により飛散を防止
臭気	屋上等の防水工事に用いるアスファルトの溶融、塗装工事等	防水工事では、ノンケトル工法を採用予定（アスファルトを溶かす溶融釜を用いず、比較的臭気が抑えられる工法）
家屋変状	掘削、掘削等に伴う振動	隣接家屋への影響に配慮し、掘削等慎重に作業（直近の住家について、工事前後に家屋調査を実施し、工事に起因する変状が認められた場合は修繕のため、京都府の規定により金銭補償）

8. 工事用車両の通行ルート（現時点での想定）



《離合、安全確保》

大型車両通行時には、
転回部及び黄檨トン
ネル南口付近等に交
通誘導員を配置予定

洛南病院建替整備に係る近隣説明会

令和4年6月

ガイダンス

1. 主催者挨拶

2. 計画・工事概要説明

- (1) 洛南病院建替整備計画の全体像
- (2) 工事の概要
- (3) 新しい建物の概要
- (4) 新しく整備する診療機能（医療観察法病棟）

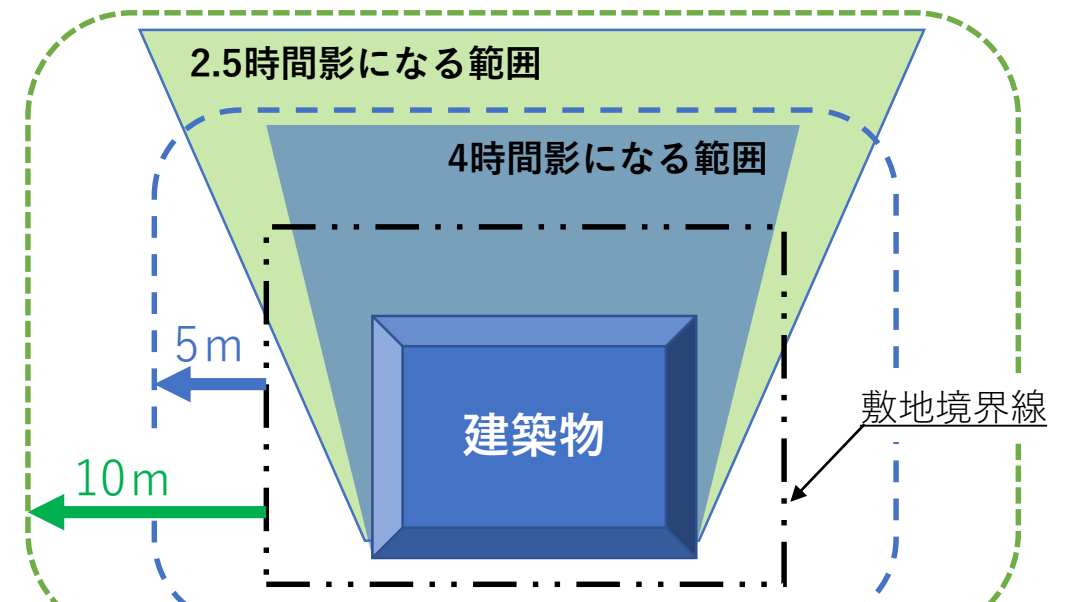
3. 質疑応答

13. 生活環境への影響と対応

影響	内容、発生源	対応、規制内容
騒音	空調等の室外機 人の話し声 等	室外機周りパネル 【法令規制のレベル】 昼間：45デシベル 夜間：40デシベル
夜間光	病院各室内灯 法令による常夜灯など	<ul style="list-style-type: none"> 入院病棟は21:30消灯 外来、検査、薬局、リハビリ、事務、厨房等は原則夜間消灯 その他ブラインドで遮蔽等
視線	居室・病室から	窓を小さく最小限とする設計。病棟の窓にはルーバー設置
臭気	給食調理	ダクトで建物上方に排気

影響	内容、発生源	対応、規制内容
日影	建物	法令基準を満たすよう設計

【法令基準の内容】
2.5時間以上建物の影を敷地境界から10mを超えて生じさせず、かつ、4時間以上建物の影を敷地境界から5mを超えて生じさせない。 ※洛南病院北側地域の例



建築基準法の日影規制のイメージ

洛南病院建替整備に係る近隣説明会

令和4年6月

ガイダンス

1. 主催者挨拶

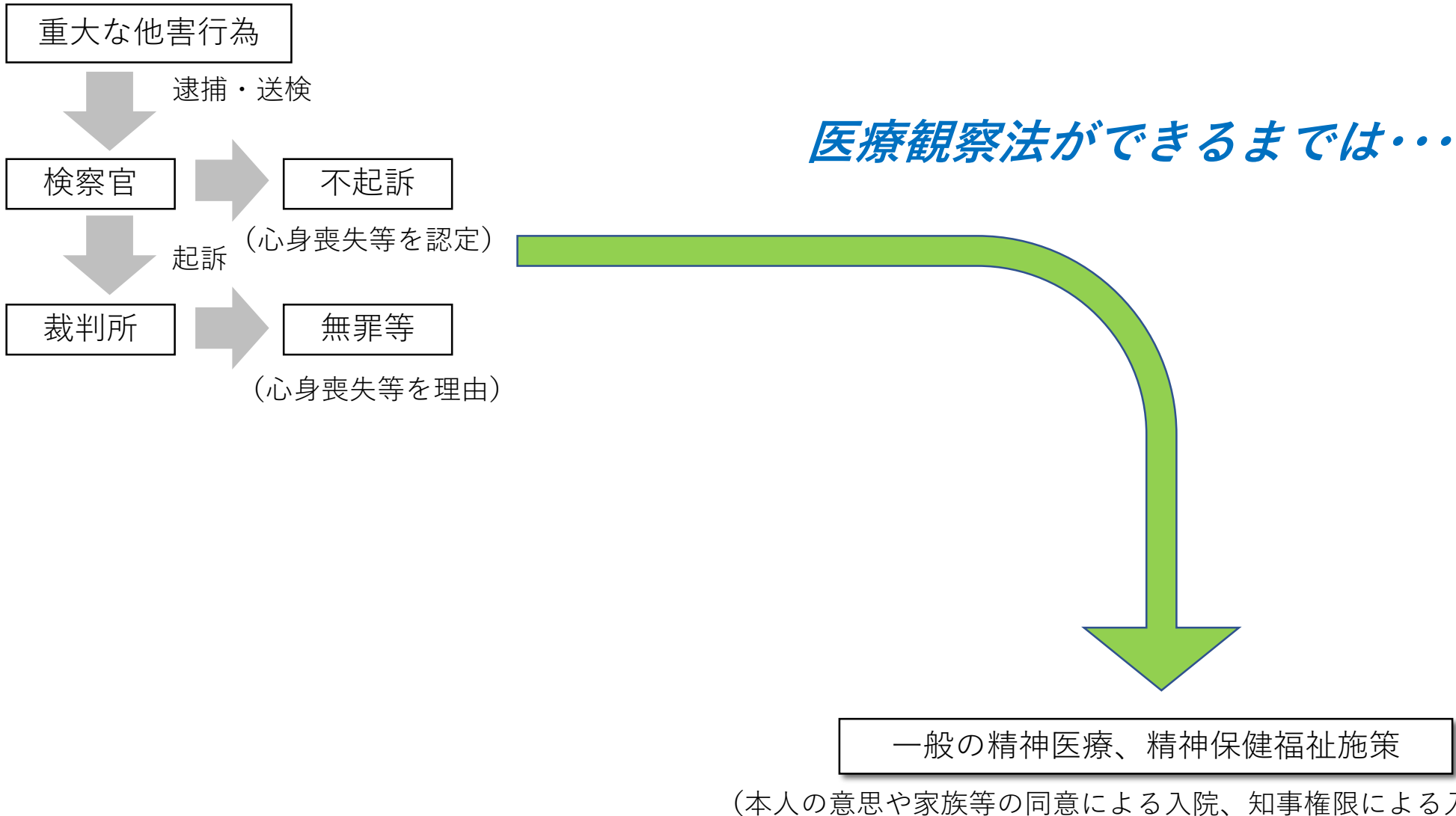
2. 計画・工事概要説明

- (1) 洛南病院建替整備計画の全体像
- (2) 工事の概要
- (3) 新しい建物の概要
- (4) 新しく整備する診療機能（医療観察法病棟）

3. 質疑応答

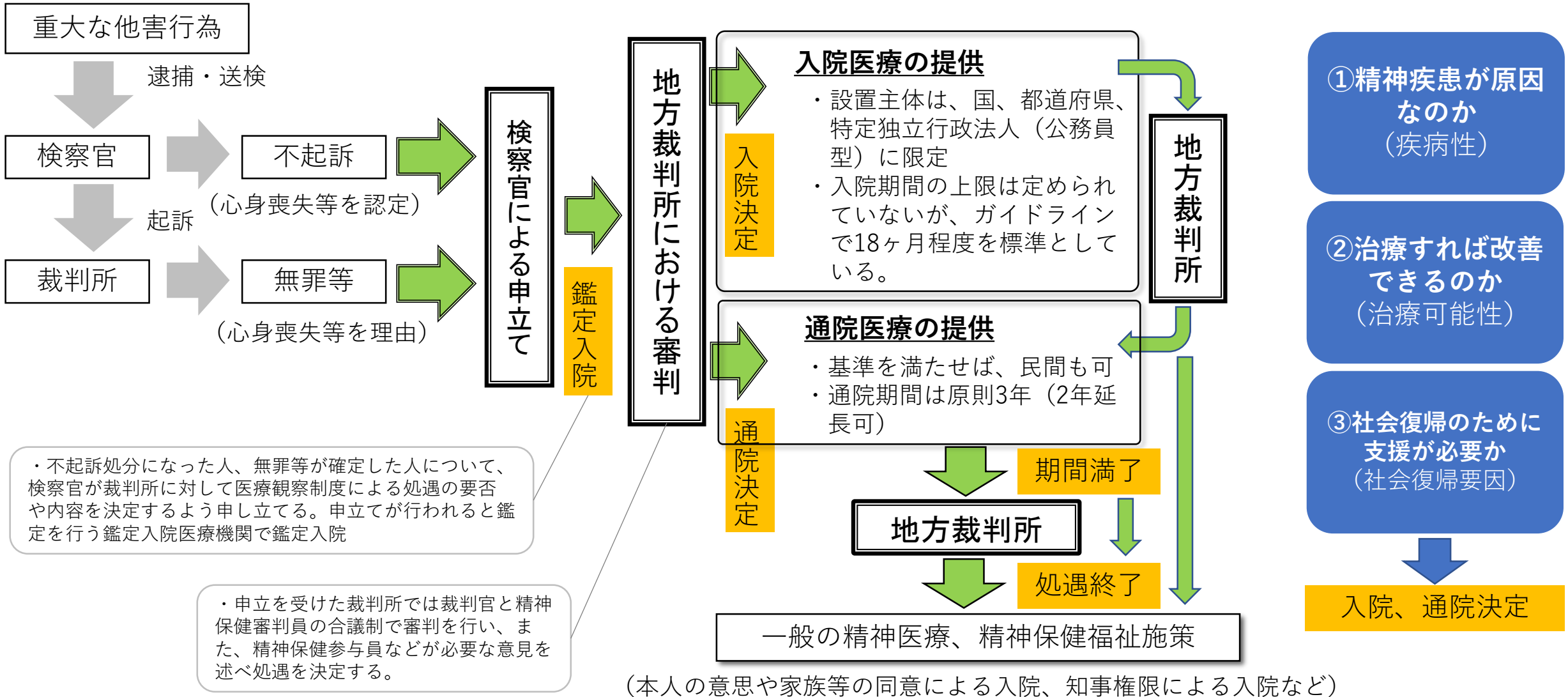
14-1. 医療観察法制度の目的と仕組み

目的：心神喪失等で重大な他害行為を行った者に、適切な医療を提供して病状を改善し、社会復帰を促進する



14-2. 医療観察法制度の目的と仕組み

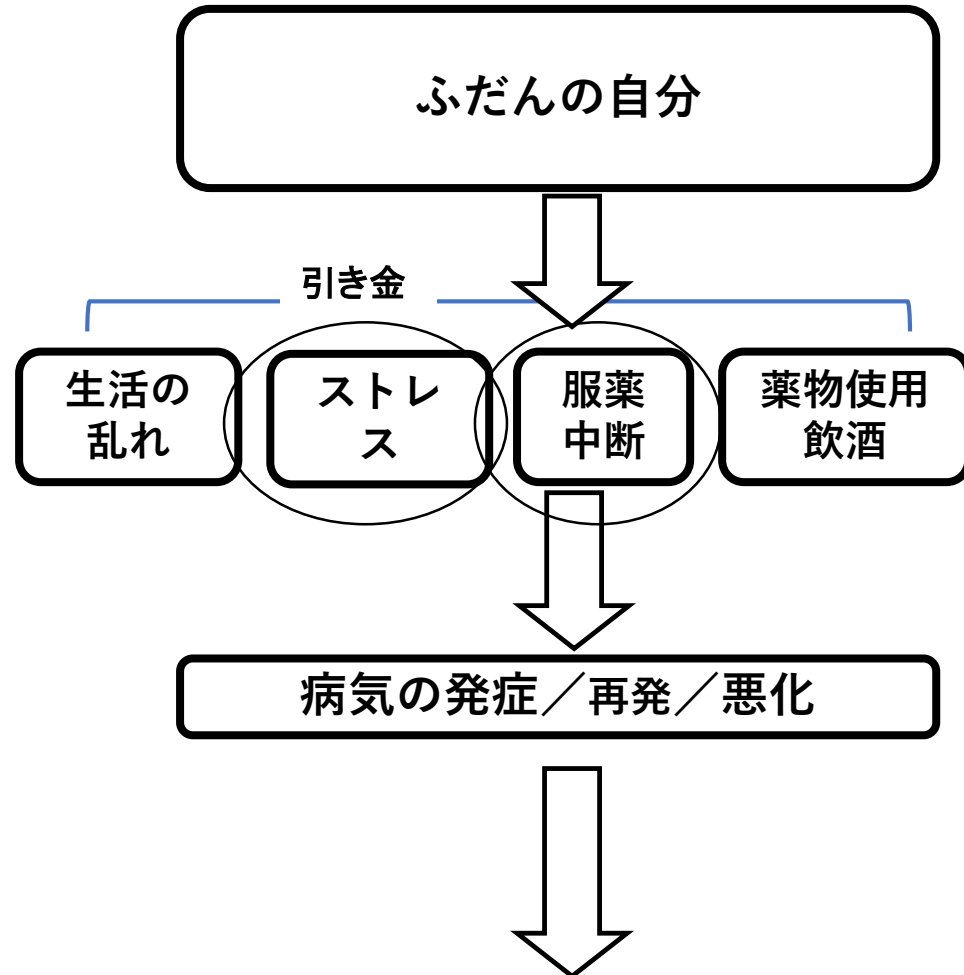
目的：心神喪失等で重大な他害行為を行った者に、適切な医療を提供して病状を改善し、社会復帰を促進する



15-1. 精神の疾患と「他害行為」

(出典：医療観察法「通院ワークブック」)

A男さんの場合



A男さんは、26歳の時に統合失調症にかかりましたが、精神科の薬が効き、症状も治まったので、通院しながら事務の仕事を始めました。



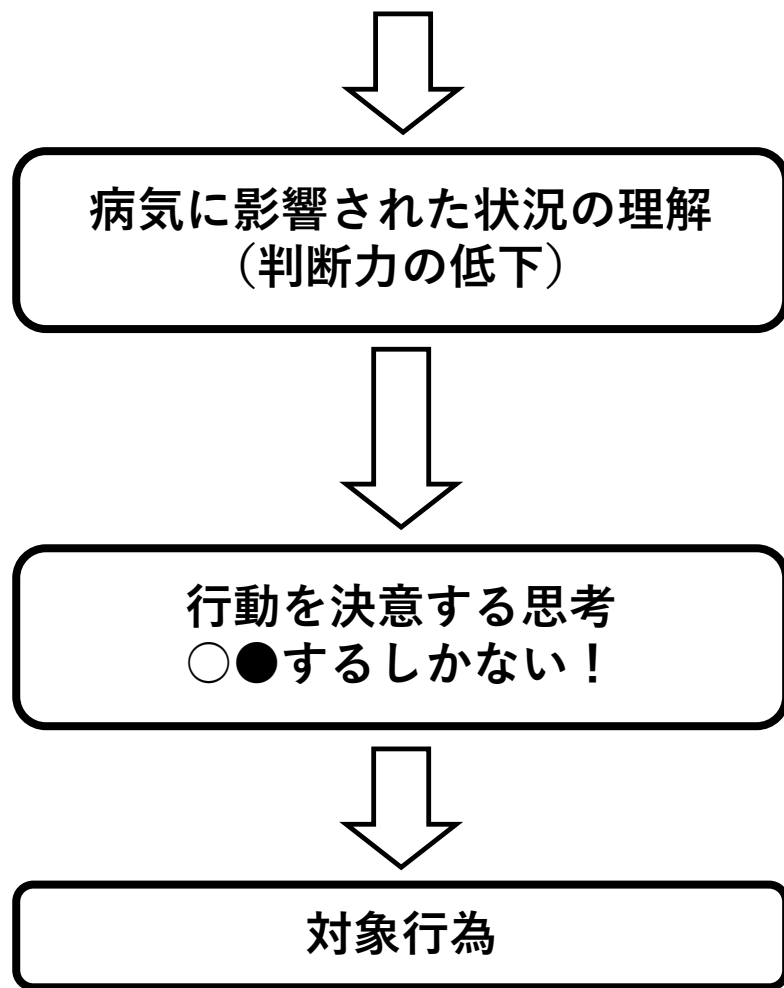
仕事が忙しかったA男さんは**通院が面倒になり、やめてしまいました**。しばらくは体調もよかったです。段々と夜、眠れなくなってきたのです。



そのうち、職場で同僚たちが自分の**悪口を言う声が聞こえて**きました。(実は**幻聴**なのですが、あまりにリアルなのでA男さんには本当としか思えませんでした。)

15-2. 精神の疾患と「他害行為」

(出典：医療観察法「通院ワークブック」)



統合失調症の眼鏡を通した
状況把握になっています



統合失調症の眼鏡を通した
状況把握になっています



仕事中に休憩をとっていると、「怠け者」と聞こえてきます。Aさんは「**監視カメラで見張られている**」「**会社の連中はグルだ**」「**嫌がらせをされている**」と確信しました。

その後、Aさんは同僚を観察していて、自分に対する嫌がらせの首謀は社長だと気づきました。そして「**自分はやられっぱなしの人間ではないことを示すしかない**」と**考えた**のです。

耳元から「できるもんか」という声がある中で、思いあまったAさんは、そのまま社長に殴りかかったのです。

16. 入院治療と退院に向けた支援

入院

急性期

(幻覚・妄想など)

回復期

(ゆとり、周囲への関心)

社会復帰期

退院・通院治療へ

治療（病院）

薬による治療

向精神薬を使って、神経伝達物質の働きを調整し、脳の働きを改善

心理社会的療法

公認心理師との面接などを通じて、極端な考え方（認知のゆがみ）を修正したり、適切な行動が取れるよう学習したり、対象行為と精神症状の関連を考えたりする。

医師、看護師、公認心理師、
精神保健福祉士、作業療法士
など多職種チーム

知識・スキルをもった専門職（社会復帰調整官）がコーディネート

生活環境の調整（保護観察所など）

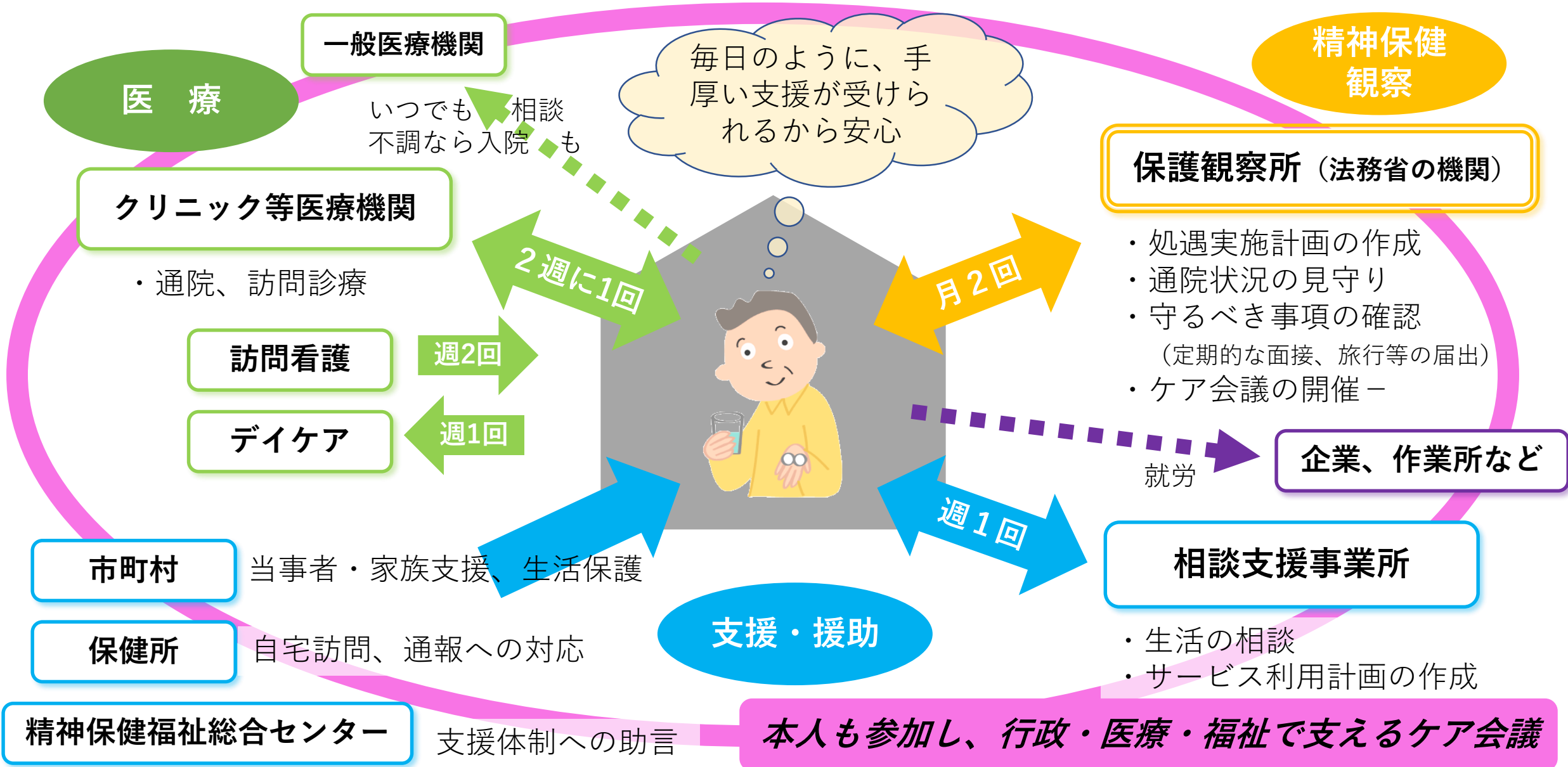
地域生活のための体制づくり

- ・ 支援のための計画を作る。
- ・ 支援機関によるチームを作る。
- ・ 家族の支援を行う。

居住地、通院先の選定・確保

- ※基本的には、家族のもと、これまでの居住地に復帰する。
- ※通院先は、居住地の近くで選定されるので、入院先に限定されるものではない。

18. 退院後の通院治療と支援 (例)



地域の皆さまに安心して受け入れていただくために

京都府としましては、洛南病院の建替整備にあたり、
建設工事を進める上での安全確保と住環境への影響軽減はも
ちろんのこと、

新しい病院が、地域の皆さまに安心して受け入れていただけ
るよう、不断の努力を続けてまいります。

皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

京都府健康福祉部
京都府立洛南病院

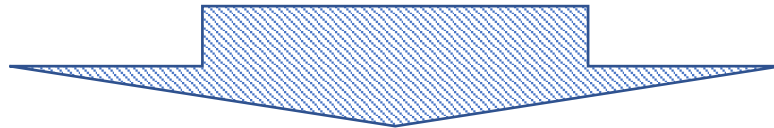
洛南病院建替整備に係る近隣説明会

質問票

令和4年7月19日(火)までの間に、質問をお寄せください。

※①ご芳名、②ご住所、③電話番号、(FAXでの質問の場合、④FAX番号)の記載がない場合、回答いたしかねますのでご注意ください。

① ご芳名	
② ご住所	
③ 電話番号	
④ FAX番号	※メールで質問いただく場合は記入不要です。 FAX 回答先 → 0774-
⑤ 公表同意	質問内容及び回答が公表されることに、同意 → <u>する・しない</u> ※同意する、しないのいずれかに○を付してください。記入がない場合は公表の同意はいただけないものとして取り扱いいたします。(なお、同意の有無に拘わらず、氏名・住所・電話番号・FAX番号は公表対象とはなりません。)
⑥ 質問内容	



◆FAX で送信の場合：0774-32-5900

◆メールで送信の場合：rakunanhp-shomu@pref.kyoto.lg.jp

(※メールで質問いただく場合は、上記の表中①②③⑤⑥の項目をメール文に御記入ください)